

空気と水のテクノロジー

# RYOWA REPORT

株主通信 vol.26 第64期 業績のご報告  
平成24年4月1日～平成25年3月31日



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、テクノ菱和グループは、第64期（平成24年4月1日から平成25年3月31日）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和  
代表取締役社長

阿部健司

**Q** 当期の建設業界を取り巻く環境は  
いかがでしたか？

**A** 当期は、円高や海外経済の減速により輸出や生産が減少し、景気後退局面からのスタートとなりましたが、政権交代以降円安が進行し、企業業績の回復期待から株価も上昇するなど、景気回復に向けた明るいムードが見え始めてきました。しかしながら、建設業界におきましては、政府による復興需要の顕在化により公共投資は堅調だったものの、秋口までの景気低迷による投資マインドの低下により設備投資は低調に推移し、受注状況が改善されるには至らず前期に続き厳しい経営環境となりました。

**Q** 当期の業績はいかがでしたか？

**A** 当期は、「コスト・利益意識の徹底」をテーマとして、原価管理の厳格化やリニューアル分野および海外事業の強化を方針に掲げ、収益力の改善に向けた取組みを推進してまいりました。まず、全社調達機能の一本化と集中調達による更なる工事原価の低減を目的として調達本部を設置し、コスト競争力の強化や不採算案件の排除に取り組んでまいりました。さらに、リニューアル分野の受注強化のため、環境・省エネ分野のノウハウを培った人材を事業所営業部門に配置したほか、海外事業部を設置して、現地の状況に柔軟に対応できる体制を確立するなどの施策にも取り組

んでまいりました。

その結果、低調な設備投資動向の影響や前期から繰り越した手持工事の減少により、売上高は前期と比べ減少いたしました。不採算工事が減少したことや、全社的な経費削減への取組み、さらに連結子会社の業績が堅調だったことなどから、前期の損失計上から一転して利益を計上するに至りました。

	当期 (百万円)	前期 (百万円)
売上高	46,719	53,365
営業利益	183	△737
経常利益	376	△560
当期純利益	162	△769

**Q** 来期の方針を教えてください。

**A** 当期の連結業績においては、利益を計上することができましたが、単体の決算では、損失計上を余儀なくされたことから、来期のキーワードとして、業績の回復を掲げました。来期は市場や外部環境の急激な変化への対応と採算性の改善を徹底し、全社一丸となって各種施策に取り組んでまいります。具体的には、お客さまのニーズを的確に捉え、人材育成・人員配置も含めた戦略的な営業力の強化を行うほか、部門別の予算管理を徹底するとともに、引き続き調達本部を中心とした集中購買を推進するなど、コスト競



争力の更なる強化に取り組んでまいります。また、今後も拡大が見込まれる海外での受注を確保するため、駐在員事務所を置くインドネシアだけでなくその周辺国にも営業展開するなど、海外事業の基盤を強化してまいります。さらに、省エネや環境への配慮がますます重視されるなか、既存設備の改修需要を確実に取り込むため、お客様が抱える様々な問題をワンストップで解決できるよう、設計、施工からアフターメンテナンスまでのすべての工程を自社で一貫して行う体制を構築してまいります。

**Q** 来期の業績見通しを教えてください。

**A** 来期は、海外景気の持ち直しや円安の進行などにより輸出企業を中心に企業収益の回復基調が強まり、景気は総じて堅調に推移することが予想されます。建設業界におきましても、公共投資は復興需要の顕在化で引き続き増加が見込まれるほか、企業収益の回復に伴い、企業の投資マインドが改善されることにより、設備投資も緩やかながら回復が見込まれています。しかし、労務・資材費高騰による工事進捗の遅れというリスクもはらんでおり、当社を取り巻く経営環境は、先行き予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況のなか当社グループといたしましては、戦略的な営業力の強化や原価管理の徹底などの施策を推し進め、収益の改善に努めてまいります。

来期の連結業績見通しにつきましては、売上高51,000百万円、営業利益510百万円、経常利益640百万円、当期純利益280百万円を見込んでおります。

	来期予想 (百万円)
売上高	51,000
営業利益	510
経常利益	640
当期純利益	280

**Q** 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

**A** 当社グループは、CSRを重視した経営を実践することで社会に対する責務を果たすと同時に、継続的に利益を上げていくことが、企業価値の向上につながり、ひいては株主のみなさまのご期待にお応えする方法であると認識しております。その一步として、まずは早期の業績回復を目指し、グループ一丸となって経営基盤と収益力の強化に向けた施策を推進してまいります。

当期の配当金につきましては、株主のみなさまへの安定的な利益還元を考慮しつつも、当期の業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、期末配当金を1株につき6円とし、年間では前期より3円減配の1株につき12円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 施工実績

### 株式会社ヤクルト本社兵庫三木工場



本物件は、高品質を追求するために最新鋭の設備が導入された西日本地域における乳製品製造の基幹工場として、兵庫県三木市のひょうご情報公園都市の一面に新設されました。また、本物件では、環境保全・省エネ対策として、排熱の再利用や搬送動力の低減などによりCO<sub>2</sub>発生量が削減されているほか、中央監視によりエネルギー使用量の一元的な管理が行われています。

概要	
竣工年月	2013年2月
施工地	兵庫県三木市
建物用途	乳製品生産施設
延床面積	26,189.00㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・換気・ユーティリティ設備工事

### 株式会社堀場エステック阿蘇工場



本物件は、阿蘇工場の既存棟の改修と新棟の建設を併せた第4期拡張工事により完成しました。新棟では、主に血液検査装置や検査試薬等の医用製品が生産されています。また、既存棟のクリーンルーム増床工事では、空調の制御を「パッケージ型空調機+FFU方式」で行っています。

概要	
竣工年月	2012年7月
施工地	熊本県阿蘇郡
建物用途	半導体関連・医用製品生産施設
延床面積	8,083.00㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・換気・衛生設備工事



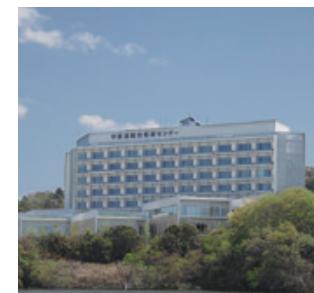
### カゴメ株式会社茨城工場



本物件は、チルド飲料事業の強化と大規模災害を想定した生産拠点の分散化を目的として、茨城工場の敷地内に建設された新工場棟です。当社は空調および衛生設備工事全般を担い、短工期のなか、施主、ゼネコンおよび他の設備工事会社と緊密に連携を図り、工期内の完成を果たすことができました。

概要	
竣工年月	2012年12月
施工地	茨城県小美玉市
建物用途	飲料製品生産施設
延床面積	5,560.00㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事

### 中東遠総合医療センター



本物件は、東名高速・JR新幹線掛川～浜松間より望める立地にあり、全国初の試みとなる隣接する市の二つの市立総合病院を統合するプロジェクトにより開院した基幹病院です。「24時間365日の医療継続に対応する災害拠点病院」として、災害時の水の確保・汚水貯留槽の設置等の緊急時への対応に加え、環境への配慮として、太陽熱を利用した温水設備や雨水を洗浄水に再利用できる設備等が備えられています。

概要	
竣工年月	2013年3月
施工地	静岡県掛川市
建物用途	医療施設
延床面積	46,151.55㎡
物件形態	地上8階
工事範囲	給排水設備工事

# テクノ菱和の技術の紹介

Vol.04

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり…  
テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。  
そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である  
私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check! 設備やデータを一元管理!

## 中央監視制御技術

### ☆中央監視って何?

建物にある空調、衛生およびユーティリティ設備などの各種設備を効率的かつ確実に監視・制御するために、制御装置やセンサーを集約した中央管理室等から一括して作動状況の監視や運転の制御を行うことです。

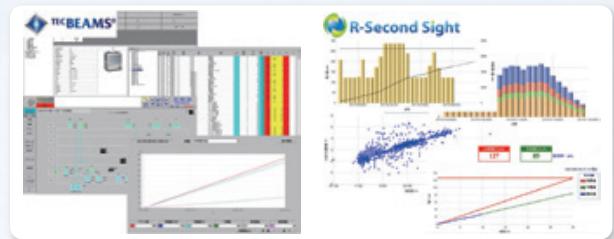
### ☆どのような点で中央監視制御技術が必要とされているの?

建物内には多数の設備があり、それらを一つひとつ管理していくのは、とても大変です。中央監視制御技術を用いることで、多数の設備を一箇所ですべて制御・監視することができ、発生した不具合をセンサー等で迅速に発見することができます。また、エネルギー管理システム(BEMS機能)と連携させることにより、室内環境の制御やエネルギーの管理に欠かせないものとなっています。

### ☆どんな技術があるの?

当社が開発した高機能設備管理システム<sup>TEC</sup>BEAMS<sup>®</sup>は、オープンネットワーク・マルチベンダーに対応しており、タブレット端末と無線ネットワークを組み合わせることで、どこにでも中央監視システムを持ち歩くことができます。また、設備に故障が発生した時も、当社監視センターでの遠隔監視サービスや警報メール機能により、すぐに不具合箇所が特定できるほか、長期間に亘る設備の運用データを蓄積することができ、そのデータに基づく効率的な設備の管理運用を支援します。

さらにクラウド型BEMS機能[R-Second Sight]との連携により、エネルギー消費量を見える化できるほか、複数拠点の計測データを一元的に管理し、様々な予測グラフ、解析グラフ機能を用いることで、エネルギー管理や省エネ活動を強力にバックアップします。



R-Second Sightを利用して作成したグラフ例

Check! 医療の発展に貢献!

## ホルムアルデヒド対策技術

### ☆ホルムアルデヒドって何?

ホルムアルデヒドは、常温では無色透明で刺激臭があり、殺菌・防虫・防腐剤として、医療関係等で広く使用されています。具体的には、ガスにより細部まで殺菌することができ、消毒殺菌では効果がない芽胞菌に対しても有効であるホルムアルデヒド燻蒸という滅菌方法が医薬品製造施設や実験動物飼育施設等で用いられています。また、ホルムアルデヒドとメタノールを水に溶かした「ホルマリン」と呼ばれる水溶液が医科大学での解剖実習にも用いられています。

### ☆どうしてホルムアルデヒド対策が必要な?

ホルムアルデヒドは、アレルギー反応や呼吸障害を引き起こすシックハウス症候群の原因物質として知られるなど人体にとって有害であるため、室内外の両面対策が求められています。室内においては非常に厳しい管理濃度が法的に定められており、大気への排出時には各都道府県条例における規制値が設けられています。

### ☆どのようなホルムアルデヒド対策技術があるの?

当社には、室内作業環境を良好に保ち、解剖実習者の健康を守るため、解剖実習台の周囲に気流を発生させてホルムアルデヒドの拡散を防ぐ局所換気技術(製品名:FORMACS<sup>®</sup>)があります。また、大気に排出するホルムアルデヒドを触媒に接触させることにより常温で水蒸気と二酸化炭素に分解できる技術(製品名:FOTRAM<sup>®</sup>)があります。当社は、これらの技術を通じて、医療の発展や医薬品の研究開発に貢献しています。



FORMACS<sup>®</sup>(ホルマックス)



FOTRAM<sup>®</sup>(フォトラム)

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

科目	前事業年度 平成24年3月31日	当事業年度 平成25年3月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	33,641	30,056
現金及び預金	9,594	10,485
受取手形・完成工事未収入金等	22,786	18,779
未成工事支出金等	213	186
その他	1,046	604
固定資産	11,493	11,850
有形固定資産	3,493	3,415
無形固定資産	1,156	942
投資その他の資産	6,843	7,492
<b>資産合計</b>	<b>45,134</b>	<b>41,907</b>

## 連結損益計算書の要旨

科目	前事業年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	当事業年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	53,365	46,719
売上原価	48,500	41,376
売上総利益	4,864	5,342
販売費及び一般管理費	5,601	5,159
営業利益	△737	183
営業外損益	176	193
経常利益	△560	376
特別損益	△176	38
税金等調整前当期純利益	△736	415
法人税、住民税及び事業税	188	255
法人税等調整額	△155	△2
少数株主損益調整前当期純利益	△769	162
当期純利益	△769	162

## 連結貸借対照表の要旨 (単位:百万円)

科目	前事業年度 平成24年3月31日	当事業年度 平成25年3月31日
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	19,825	16,285
支払手形・工事未払金等	17,368	13,471
未成工事受入金	815	960
その他	1,641	1,853
固定負債	831	834
負債合計	20,656	17,119
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	23,879	23,710
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	18,638	18,469
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	599	1,077
純資産合計	24,478	24,787
負債純資産合計	45,134	41,907

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

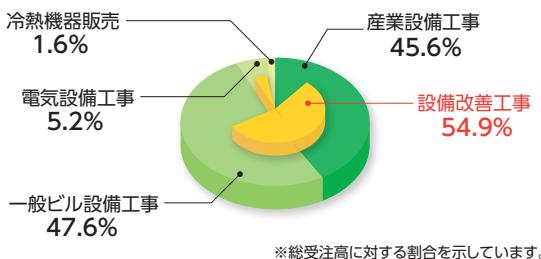
科目	前事業年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	当事業年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△835	1,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346	△402
現金及び現金同等物の増減額	△1,408	556
現金及び現金同等物期首残高	9,919	8,829
連結子会社と非連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額	319	—
現金及び現金同等物期末残高	8,829	9,386

### Point

- ①売上総利益率**  
原価低減の取組みにより、前事業年度と比較し、売上総利益率が改善しています。(前事業年度9.1%→当事業年度11.4%)
- ②特別損益**  
特別利益として、投資有価証券売却益248百万円を計上したものの、特別損失として、投資有価証券評価損210百万円を計上したことにより、特別損益は38百万円となりました。

## 業績レポート

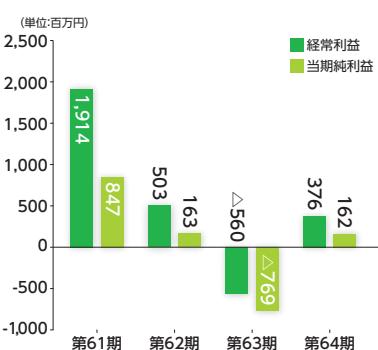
### 受注高構成比



### 受注高・売上高



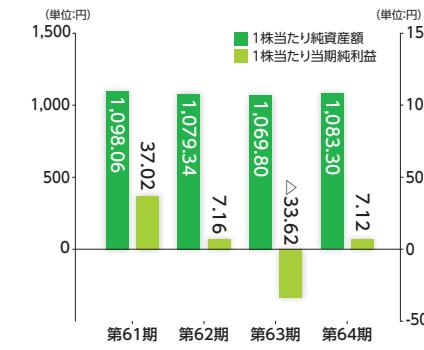
### 経常利益・当期純利益



### 純資産額・総資産額・自己資本比率



### 1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



### 産業設備関連事業

当期は、経済不安の影響が色濃く、設備投資に大幅な回復が見られなかったものの、震災による影響が大きかった前期と比べて、受注高は増加いたしました。  
 今後は、設計・積算から施工後の運用、メンテナンスまでをワンストップでできる体制を強化するなど、お客様のニーズを的確に捉えた戦略的な営業を展開してまいります。

### 一般ビル設備関連事業

当期は、公共投資が増加したものの、官公庁からの受注が不本意な結果となりましたため、受注高は前期と比べ、減少いたしました。  
 今後は、官公庁からの受注拡大に向けて、「総合評価落札方式」への取組みを強化するほか、経営資源の選択と集中を念頭に置いた地域別の営業戦略を確立してまいります。

### 電気設備工事事業

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。

### 設備改善工事

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。

# 会社概要 / 株式の状況



## 会社概要 (平成25年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和  
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)  
設立 昭和24年12月23日  
資本金 2,746,800,000円  
上場 東京証券取引所市場第二部  
従業員 642名(連結741名)  
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号  
登記上の所在地 東京都港区赤坂8丁目5番41号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)  
東京本店(東京都豊島区)  
千葉支店(千葉県千葉市)  
茨城支店(茨城県土浦市)  
北関東支店(埼玉県さいたま市) ※平成25年4月1日設置  
東北支店(宮城県仙台市)  
横浜支店(神奈川県横浜市)  
名古屋支店(愛知県名古屋市)  
静岡支店(静岡県静岡市)  
大阪支店(大阪府大阪市)  
中国支店(広島県広島市)  
九州支店(福岡県福岡市)  
海外事業部(東京都豊島区)

## 役員 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	阿部 捷 司	取締役	松橋 秀 明	取締役	若村 恒 夫
常務取締役	黒田 英 彦	取締役	知見 扶 公	常勤監査役	永江 繁
常務取締役	堂垣内 重 晴	取締役	濱野 豊	監査役(社外)	横山 真 次
取締役(社外)	佐藤 純 三	取締役	根岸 孝 雄	監査役(社外)	林 健 一 郎
取締役	平松 博	取締役	岡田 秀 司		
取締役	飯田 亮 輔	取締役	鈴木 孝		

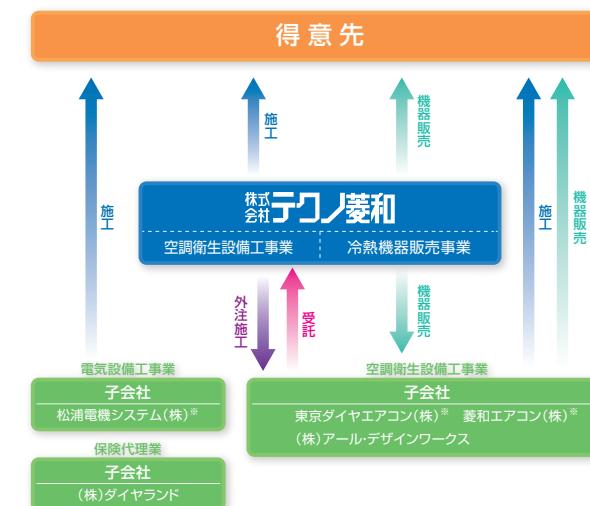
### 事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業、並びにそれに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業  
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業  
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷熱機器販売事業  
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業  
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 保険代理事業  
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

## 企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社* 所在地 東京都新宿区 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社アール・デザインワークス 所在地 大阪府大阪市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社* 所在地 愛知県名古屋市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社ダイヤランド 所在地 東京都港区 主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社* 所在地 大阪府守口市 主要な事業の内容 電気設備工事業	



### 株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

ご優待品「特選茶」

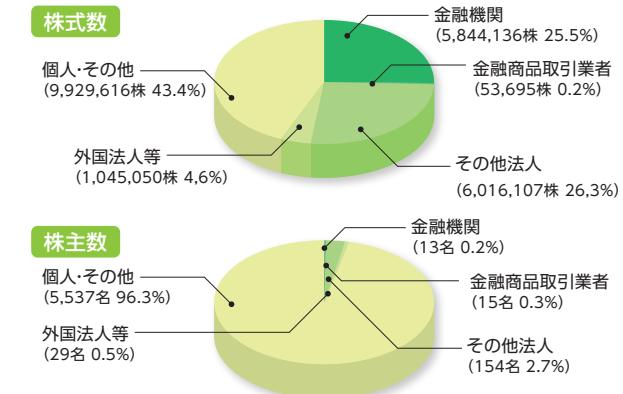
## 株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株  
当期末現在の株主総数 5,748名

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,025	8.8
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
テクノ菱和従業員持株会	830	3.6
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	672	2.9

## 株式の分布状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および  
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き  
お問い合わせ先

【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様  
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様  
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ  
を使用して印刷しています。

UD  
FONT



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙

FSC® C022915